

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・写真 後藤
山行NO	1877	
日時	2020年08月02日(日) 晴れ・蒸し暑い	
山域	岐阜・大日ヶ岳(1709m・日本二百名山)	
コース	長泉 6:00 一名古屋一東海北陸道一ひるがの高原登山口発 10:37 一いっぷく平 11:59 一展望台 12:54 一大日ヶ岳 13:11~40(昼食) 一登山口 15:31 一ひるがの高原キャンプ場(泊)	
標高差	上り ひるがの高原登山口約960m~大日ヶ岳1709m=約749m 下り 同上	
山状況	藪なし・よく踏まれている・登山口トイレなし・駐車場2面30台	
難易度	非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
<h2>延々とブナ林がつづく尾根</h2>		
参加者	後藤、加藤、星、合谷=4名	

2020・夏山合宿が始まった。山域選択は色々あったが、ベテランは未踏の山、新しい会員は、3000m峰を選んだ。結局、岐阜・大日ヶ岳、高山市・位山、長野・御嶽山に決定。  
車経路は距離あるが、時間的に速い、全て有料道路の名古屋経由となった。昔は電車で1日掛かったが、現在は車で4時間程度は驚きである。



問題なく、ひるがの登山口着。陽はすでに高く暑い。いつも早朝発の我々には応える時間帯。下刈りされたキレイな道を上る。早くも下山してくる方がいた。登山道の脇は、ブナ林が続いている。それにしても暑い。本来、この山は雪がある時に上る山。山岳スキーで有名だ。

花は少なかった。唯一、静岡で見ない、アジサイがキレイだった。登山道は、ダラダラと長く中々高度を稼げない。仲間からクレームがでる。ようやく三角点がある1356m峰着。「いっぷく平」の看板があった。

更に平坦に近い道を進む。上から何人も降りて来た。素人っぽい何処かのオバサンに励まされる始末。



ブナ林



標高1580m付近でようやく展望が開けた。周りに高い山はなかった。「展望台」の看板があった。男性が二人休んでいた。少し下って最後の上りで頂上着。2時間掛からなかった。標高差の割に速かった。やっぱり傾斜がないと速いか。広い頂上で何人か休んでいた。山名の大日ヶ岳の「大日如来像」があった。信仰の山だった。

信仰の山だが、西・南に大きなスキー場がある。信仰と商売は関係ないようだ。何処かの方が、何処から何時間で来ましたかと問われ答えると「速いですね」といわれた。



大日ヶ岳頂上



南（ダイナランド）方面

西（白鳥リゾート）方面

30分休憩して下山。下山は平坦故、楽だった。大汗をかいて登山口着。早朝発で疲れていた。時間はすでに15:30。これから車移動はイヤ。すぐ近くに「ひるがの高原キャンプ場」があった。様子を見る。

日曜日夕方まで空いていた。受付で聞けば、一人=1100-。車一台=1100-。安い。有難い。即決。トイレは、ウォシュレットで完璧。シャワーは、5分で100-。蚊はいない。ヒグラ



シが鳴いている。静か。五月蠅いことはいわない。自由な雰囲気。サイコーだった。

テントは、大小二つ張る。一つは、GYのを借りた。GYはテントを購入したが、まだ自身が使っていない(´艸`)。それと昨年会で購入した、コールマンの大型フライテントを被せた。

夕食は、焼き肉だった。Kがいうタン・ハツの「ゲテモノ」と精肉。何故か食欲旺盛で、二日分の肉を食べてしまった。恐るべき「老人集団」。ちなみに4名の平均年齢は約71歳だった。

もちろん、ビアもガンガン。ワインを忘れて残念。夜半に少し雨でした。次回は、山岳スキーで訪れたい。

(了)

